

上行第 7147 号  
令和2年3月11日

新道区地域協議会  
会長 秋山 茂 様

上越市長 村山 秀 幸



地域が必要とする公の施設に関する意見書について（回答）

令和2年2月12日付で提出のあった標記の意見について、下記のとおり回答します。

記

貴地域協議会におかれましては、区内における公の施設のあるべき姿について、ご審議  
いただくとともに、地域をはじめ、施設利用者の皆さんのご意向の把握に尽力いただきま  
したことに感謝申し上げます。

現在、市では、人口減少や施設の維持管理費の増大などに対応するため、将来を見据え  
た施設の適正配置や施設の維持管理・更新にかかる今後の方向性を示した個別施設計画の  
策定を進めており、今回ご意見をいただいた各施設についても検討しているところであり  
ます。

現状における市の方針として、多目的研修センターにつきましては、教育委員会が平成  
27年に定めた整備方針に基づいて新道地区公民館として位置付けており、施設の長寿命化  
を図り、今後も新道区の生涯学習の場として適切に維持管理してまいりたいと考えており  
ます。芙蓉荘につきましては、施設の老朽化を考慮し、令和7年度を目途に施設を廃止す  
ることとし、その代替として多目的研修センターや他の集会施設を利用させていただくこと  
としております。

今後、これらの方針を施設利用者や地元地域などの関係者をはじめ地域協議会にご説明  
し、将来に向けて真に必要な機能や施設のあり方について協議してまいりたいと考えてお  
ります。

なお、既存施設の維持管理につきましては、利用者の安全の確保を最優先に、施設の現  
状や利用状況などを踏まえ、優先順位を付け取り組んでまいりますので、今後ともご理解  
ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

